

民主島根

2019年
9.15
第1343号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

松江、出雲、江津でつどい開く 党躍進、野党連合政権の実現を 仁比そうへい 前参院議員 県内を駆けめぐる



(左上) 街頭演説する仁比前参院議員 (県庁前)



(右上) 満員の聴衆で熱気あふれた出雲会場



(左下) 熱気がみなぎった江津会場

日本共産党の仁比そうへい前参院議員・弁護士は5日、松江、出雲、松江の各市の集いを駆けめぐり、参院選での教訓と今後の展望を語りました。3会場はどれも満席で計150人が参加しました。

仁比氏は「市民と野党の共闘の進化に全力をあげながら、党の発展をめざします。日本に本当の民主主義を取り戻すため、全力で頑張ります」と力を込めました。

尾村県議「助成事業で制度構築を」
島根県は8月26日、子どもの医療費助成の対象を小学6年まで拡大し自己負担は継続する方針を示しました。同日行われた県議会地方創生・行政改革調査特別委員会で明らかにしました。

尾村市議はこのほど、松江市八束町の小学校保護者会のみなさんの案内で、通学路の危険箇所を調査しました。(写真) 松江県土整備

尾村市議はこのほど、松江市八束町の小学校保護者会のみなさんの案内で、通学路の危険箇所を調査しました。(写真) 松江県土整備

「死ななないで、ね...どうか生きて下さい...」母は入院していた病室の窓の外に向かかって涙をこらえながら繰り返して語りかけていた...この2週間後に、母は75年の生涯に幕を閉じた▼昨年9月に亡くなった女優・樹木希林さんの娘の内田他哉さんが出版した「9月1日 母からのパトーン」は不登校で悩む子どもと親たちへの樹木さんのメッセージが綴られている。さらに「今日は、学校に行けない子どもたちが大勢、自殺してしまう日なの...もったいない、あまりに命がもったいない」と続けたという▼長い夏休みが終わり2学期が始まった。今年も多くの子どもたちが命を絶つたのだろうか。60歳で網膜はく離で左目を失明し62歳で乳がん、右乳房全摘出。70歳にして全身がんを告白した樹木さん。自らの迫りくる死を悟りながら子どもたちの不登校への悩みを我が事のように憂うる女優の生き様に心を打たれた▼4年前、映画「あん」にハンセン病の元患者役で出演した時の思いを「赤旗」紙上で語っている。「生まれることがもはや素晴らしいのだから、いらない存在なんてないんですよ」と。だからこそ無差別殺人の戦争を憎み、沖縄・辺野古のテント村にも足を運んだ▼「あん」の原作者ドリリアン助川さんは「希林さんはよく『人間の裏まで見る悪い性格なの』とご自身を評されていた。だが、これほど細やかに、斬新なユーモアをもつて人々を包み込んだ女優を私は知らない。いや、女優という枠を超えて希林さんは私たちの心を温め続けてくれた人の世の華であった」と追悼した。(吉)

鼓動



地元住民と道路危険箇所を調査 松江市八束町 尾村県議、橘市議が参加

事務所の課長や八束支所長、地元警察、交通安全協会の役員が参加し、県道や市道で横断歩道を設置してほしい場所や、学校があることを伝える道路標示、スクールゾーン表示をしてほしい箇所などを確認して回りました。

調査後、尾村県議は「子どもたちが安全に通学できるよう一刻も早い対策が求められます」と語りました。